



山形九中だより

# りんどうの花

令和7年度  
2月6日学校運営協議会  
山形市立第九中学校  
校長 土井 正路

今年度の学校運営について、12月に実施した教育活動アンケート(児童・保護者・教職員)の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。また、記述欄には温かい感謝の言葉をたくさんいただき、今後の励みとなりました。一方で、具体的なご意見やご要望等も数多くいただきましたので、今後の学校運営の参考にさせていただきます。いただいたアンケート・教職員向けアンケートをもとに、来年度の教育計画等の話し合いを行いました。また、学校運営協議会において共有させていただきます。それらの結果も踏まえ、来年度の学校経営にいかしてまいります。ご協力ありがとうございました。

4…そう思う 3…どちらかといえばそう思う 2…あまりそう思わない 1…そう思わない

(%数値) (割合グラフ)

重点	項目	学校での取り組み例	番号	質問項目	平均ポイント	4	3	2	1	生徒	保護者	教員
1	① 生徒会	あいさつ活動 委員会活動 募金などのボランティア活動	Q1	「四つの合言葉(あいさつ、合唱、花、ボランティア)を中心とした生徒会活動等へ意欲的に取り組むことができましたか。	3.4	生徒	49	43	7	0		
					3.2	保護者	35	49	14	2		
					3.2	教員	31	62	7	0		
					3.2	保護者	35	49	14	2		
2	② 学校行事	体育祭 合唱コンクール 各種壮行式 1年:研修 2年:立志式 3年:修学旅行	Q2	体育祭、合唱コンクール等の学校行事や学年行事に意欲的に取り組み、仲間との絆を深めることができましたか。	3.8	生徒	85	13	2	0		
					3.6	保護者	65	30	4	1		
					3.6	教員	66	31	3	0		
					3.6	保護者	65	30	4	1		
3	③ 自立心	朝や廊下、授業の中でのあいさつ・返事 基本的な生活習慣	Q3	基本的な生活習慣を身につけ、あいさつや返事といった日常活動に進んで取り組むことができていますか。	3.6	生徒	62	34	3	0		
					3.2	保護者	40	48	11	2		
					3	教員	31	41	28	0		
					3.2	保護者	40	48	11	2		
4	④ 部活動	部活動 校外活動 活動開始時のミーティング	Q4	仲間と協力しながら意欲的に部活動等(校外活動)に取り組むことができていますか。	3.7	生徒	79	16	3	1		
					3.6	保護者	66	28	5	2		
					3.2	教員	28	69	3	0		
					3.6	保護者	66	28	5	2		
	考察	<p>◎生徒・保護者・教員の三者ともに肯定的な回答が90%を大きく超えている項目が多く高評価となった。</p> <p>△生徒会や基本的な生活習慣において、生徒と教員との意識の差がある。</p> <p>△生徒会活動について、主体的に取り組めるように生徒同士の対話を大事にし、生活のきまりを含め、前例踏襲ではなく、よりよいものを求めていく。</p>										

重点	項目	学校での取り組み例	番号	質問項目	平均ポイント	4	3	2	1	生徒	保護者	教員
2	① 授業	主体性を引き出す課題と振り返り 仲間との関わり・交流のある授業	Q5	授業を通して、学習内容に関心を持ったり理解を深めたりした取り組みができましたか。	3.5	生徒	55	39	6	0		
					3.1	保護者	29	52	15	4		
					3.1	教員	24	66	7	3		
					3.1	保護者	29	52	15	4		
3	② ICT活用	授業でのICT活用 タブレット端末を活用した調べ学習やまとめ	Q6	教科の授業や総合的な学習の時間にICT機器(タブレット端末や電子黒板等)を使って調べ学習をしたり、考えたり、まとめたりができましたか。	3.5	生徒	57	36	7	0		
					3.1	保護者	30	51	18	1		
					3.1	教員	31	48	17	3		
					3.1	保護者	30	51	18	1		
4	③ 読書活動	朝読書の継続 おすすめ本の紹介活動	Q7	朝読書などの読書活動を通して、本に親しむことができましたか。	3.2	生徒	42	38	18	3		
					2.7	保護者	19	39	32	11		
					2.9	教員	17	59	21	3		
					2.7	保護者	19	39	32	11		
5	④ 総合学習	1年:地域学習 2年:職業講話 3年:地域貢献清掃 進路学習	Q8	各学年の学習を通して、地域や社会について学んだり、仲間と協力し合いながら高め合ったりすることができましたか。	3.6	生徒	64	31	5	0		
					3.2	保護者	34	55	9	2		
					3.1	教員	31	48	17	3		
					3.2	保護者	34	55	9	2		
	考察	<p>◎ICT活用については、昨年度比で生徒(+7.9ポイント)、保護者(+6.6ポイント)と改善傾向にある。意識的に使用するようになったことが影響している。教員の肯定率は79%であり、他の項目に比べるとまだ活用の余地がある。</p> <p>△もっとも顕著な課題は読書活動である。生徒の肯定率は79.8%であるが、保護者は57.4%と全項目中で最も低くなっている。家庭・地域に向けて可視化した取り組みや図書借りの発行等で発信していくとともに図書館活用を進めていく必要がある。</p>										

重点	項目	学校での取り組み例	番号	質問項目	(%数値)					(割合グラフ)		
					4	3	2	1	生徒	保護者	教員	
3 お互いを敬う 九中生 (共栄・徳)	① 信人 信頼関係	様々な価値観に触れる道徳授業の工夫 学級・部活動における指導	Q9	学校生活全般を通して、様々な価値観に触れ、適切な人間関係や信頼関係を構築できていますか。	3.6	生徒	65	31	4	0		
					3.3	保護者	40	52	7	1		
					3	教員	28	45	28	0		
	② いじめ 対応	年2回の調査 生活アンケート 生活ノート 面談 相談活動	Q10	いじめをしない・許さない姿勢をもち、自他を大切に する言動をとることができていますか。	3.8	生徒	81	18	1	0		
					3.6	保護者	63	35	3	0		
					3.1	教員	28	55	17	0		
	③ 学級・ 学年経営	委員会活動 学級係活動 学年生徒会 学年集会 日常生活	Q11	学年・学級での日常生活において、お互いを大切に し、委員会や係活動に協力し ることができましたか。	3.7	生徒	74	24	2	0		
					3.3	保護者	45	47	6	2		
					3.1	教員	24	66	10	0		
	④ 教育 相談	県スクールカウンセラー、市教育相談員、担任、主任等による教育相談の実施	Q12	悩みや困りごとがあったときに相談できる窓口・環境は整っていましたか。	3.3	生徒	44	41	12	3		
					3.2	保護者	31	58	10	2		
					3.4	教員	48	48	3	0		
	考察			◎相談窓口が「整っている」と感じる保護者は88.9% (R6から12.3ポイント改善)と向上しており、生徒(84.9%)や教員(96.6%)も高評価となった。 ○アンケートや面談を通していじめに対する未然防止や早期発見、迅速で適切な対応ができた。 △より相談しやすい雰囲気・環境づくりをさらに推進していきたい。								

・いただいた意見や感想をまとめました。「 」は記載していただいた原文のままです。(本来であれば、いただいた意見はすべて掲載すべきところですが、紙面の都合上、抜粋させていただいております。)

### 1. 学習・指導体制について

- 親身な相談対応、温かい声掛けにより、生徒が安心して通学できている。「担任の先生が親身になり子どもと親に向き合って下さり初めての中学生生活を順調に過ごすことができております。」
- 「自分で考えさせる」指導方針により、生徒の主体性が育っている。「担任の先生が子供達と向き合い、自分で考えさせるという指導をして下さっているお陰で我が家は学校へ行くことがとても楽しく感じているようです。」
- 学習課題(宿題やレポート等)の提出状況について、家庭との連携(特に受験を控えた3年生)をより密にしてほしい。
- 高校入試制度の変化に合わせ、行事日程の精査(前倒しなど)を検討してほしい。  
→各行事の日程については、教育的なねらいを第一に、気候や施設の予約状況などを総合的に考慮し計画しております。ご指摘のとおり、近年の高校入試制度の変化により、受験に向けた準備期間の確保がより重要になってきていることも、私たちとして十分に認識しております。今後も、生徒一人ひとりが安心して受験に臨めるよう、時期や内容について検討を重ねて参ります。

### 2. 学校生活について(生徒の主体性)

- 「親も子どももドキドキでスタートした中学校生活ですが、帰ってくるとクラスの話や先生の話など話してくれるのが何より学校を楽しく過ごしている証だと思って聞いています。」
- 「朝、ご近所の方に挨拶をしながら登校するようになりました。挨拶をする習慣ができてきたからだと思います。ありがとうございます。」
- 生活のきまりについての見直しを進めてほしい。例えば、靴下の色を白だけでなく黒や紺を認めてほしい。頭髪や体育着等についても今の時代にあっていない。これらを「生徒自身に考えさせ、時代に合ったものへ変える」機会にしてはどうか。  
→「生活のきまり」については、現在教職員の中でも議論をしており、生徒会が主体となってルール作りを行うための下準備をしています。もう少しお時間をくださるようお願いいたします。
- ICT活用が進んでおり、期待している。
- お便りのデジタル化(tetoru等の活用拡大)を進めてはどうか。
- オンライン授業の更なる活用が必要ではないか。  
→ICTの活用については、少しずつ動き出したところです。より良いものとなるよう、情報モラルも含め、諸関係機関とも連携して進めてまいります。迅速な情報提供・連携ができるよう努めてまいります。

### 3. 学校行事・地域連携について

- 体育祭(地域参加型)や合唱コンクール(第九の全校合唱)のクオリティが非常に高く、感動した。
- 近隣施設(コバル)の駐車場確保など、保護者の参観しやすさへの配慮に感謝している。  
「夏の異常な暑さや、熊の活動、時期のおかしなインフルエンザ流行など、イレギュラーなことが多い一年でしたが、その都度学校側の対応が迅速かつ細やかで大変良かったと思います。安心して子どもたちを預けることができます。」

### 4. 部活動について

- 「いつもお世話になっております。おかげさまで楽しく通っているようです。部活動も益々興味が出て動画でアンコンの曲を熱心に研究しています。勉強も頑張っているところですが…熱心に打ち込める姿を見て安心しているところです。」
- ▲任意加入化に伴い、やる気のある生徒とそうでない生徒の温度差で練習が成立しにくくなるのではないかと懸念しています。
- ▲顧問の交代による動揺への配慮や、専門的な指導ができる体制を確保してほしい。  
→ご承知のように、来年度の中学総体後より休日の部活動を中心に部活動の地域展開が進みます。生徒一人ひとりの希望にあわせてのものとなります。国や市・県の動向を注視しながら、情報をお伝えし共有していきます。
- ▲連絡の遅さが気になる。特に休日練習の予定が出るのが遅く、家庭の予定が立てにくい。→ICT等も活用しながら徹底するよう進めます。

### 5. 安全・環境整備について

- 「子供が担任の先生に遠慮することなく、何でも話をし、相談できている姿を見てよかったと安心感を持ちました。」
- 「熊出没時の対応や行事参観の保護者への案内(駐車場の確保)、酷暑での部活動のあり方など、実態に即した方法を考えていただき、保護者として学校活動に参加しやすくなったと感じています。また、学校のホームページも更新され、子供たちの生活の様子が見えるようになり良かったです。」
- ▲下校時の生徒のマナーの良くない点、挨拶運動が最近良くないという指摘も頂戴しました。
- ▲体育館(バスケットゴール)や校舎の塗装とう、施設設備の環境改善についてのご指摘。
- ▲欠席したときの連絡の不備についてのご指摘 → 今一度全体で確認し改善を図ってまいります。